

農林水産省 革新的技術創造促進事業

「農林水産物由来物質を用いた高機能性素材等開発」講演会

東京大学 政策ビジョン研究センター 主催

日 時：平成 28 年 2 月 8 日（月）13:00-14:00

場 所：東京大学 小柴ホール（東京都文京区本郷 7-3-1）

13:00-13:05 開会挨拶 東京大学 政策ビジョン研究センター センター長 坂田一郎

13:05-13:50 講演 遠藤守信 信州大学カーボン科学研究所 特別特任教授

13:50-14:00 質疑

講演題目「先進ナノカーボンと温故知新」



先端科学の分野で今、“炭”が熱く燃えている。21世紀の基盤技術であるナノテクの代表的素材がカーボンナノチューブやグラフェンに代表されるナノカーボンのためである。炭素は常に『古くて新しい材料』と形容され、その材料研究の歴史は永くシリコン（Si）よりも100年も前から研究されてきた。グラファイトの鉛筆、カーボンフィラメントを使ったエジソンの電球、宇宙・航空時代の寵児となったカーボンファイバーそしてモバイルエレクトロニクス時代を拓いたリチウムイオン電池等のように、歴史的にしばしば時代の節目に登場し貢献してきた。ここではナノカーボンについて、その機能と新時代を拓く革新性について述べたい。また我が国農業への貢献を目的とした農工連携に関わるプロジェクト“ナノアグリコンソーシアム”で取り組む新炭素体研究についても触れたい。

※本講演会は、農林水産省が措置して農研機構生研センターが実施する「革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）」「工学との連携による農林水産物由来の物質を用いた高機能性素材等の開発」の助成を受けて開催されます。